しあわせ、つながる

L'IN

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年11月10日(木)

証券コード 2818

https://www.pietro.co.jp/

● 目次

1.	23/3期 第2四半期業績	・全社(連結)・食品事業セグメント・レストラン事業セグメント	P. 4 P. 5 P. 7
2.	23/3期 通期見通し	・原材料高の見通しと対応・全社(連結)・食品事業セグメント・レストラン事業セグメント	P.11 P.12 P.13 P.19
3.	中長期の取り組み	・新工場建設の概要を決定	P.22

【本資料における記載について】

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を新たに適用したことに伴い「旧基準での売上高」を「販売額」として記載しております。



● 23/3期 第2四半期業績



単位:百万円

増収減益想定超えの原材料価格高騰により営業損失

食品 事業:ドレッシング売上減少と原材料価格高騰の影響で大幅減益

レストラン事業:来客数の回復と出店効果により大幅増収、収益改善

項目	22/3期 第2四半期	23/3期 第2四半期	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	4,275	4,572	+297	106.9
売上総利益	2,316	2,345	+28	101.2
営業利益	291	▲36	▲327	_
経常利益	288	▲30	▲319	_
親会社株主に帰属する 四半期純利益	156	▲81	▲237	-

売上

価格改定のタイミングに生活防衛による需要減退が重なり減収

利益

減収に伴う利益減と**想定超えの原材料価格の高騰**による原価増を価格改定や生産性向上等で吸収しきれず**大幅減益**

項目	22/3期 第2四半期	23/3期 第2四半期	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	3,323	3,087	▲236	92.9
営業利益	1,109	769	▲339	69.4



業内訳

売上高 3,087百万円 前年同期差▲236百万円 主力カテゴリは苦戦も、育成カテゴリは着実に成長

販売額	22/3期2Q	23/3期2Q	前年比(%)	前期差	備考	
ドレッシング	2,904	2,613	90.0	▲291	需要減退と価格改定の影響	
パスタ	647	580	89.6 ▲67 7		ボトル入りパスタソース価格改定の影響	
冷凍	146	179 122.6		+33	配荷拡大、ラインアップ拡充(ドリア)	
スープ	56	71	126.8	+15	ギフト利用の増	
海外、その他	152	171	112.5	+19	海外(+7)	
販売額合計	3,905	3,614	92.5	▲291		
会計基準修正	▲ 582	▲ 527				
売上高	3,323	3,087	92.9	▲23 6		



売上

既存店の回復と新店効果により大幅増収

利益

食材価格高騰の影響を受けるも**新メニュー投入**と グランドメニューの価格改定で対応し原価率改善

項目	22/3期 第2四半期	23/3期 第2四半期	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	871	1,405	+533	161.2
営業利益	▲147	▲33	+113	_



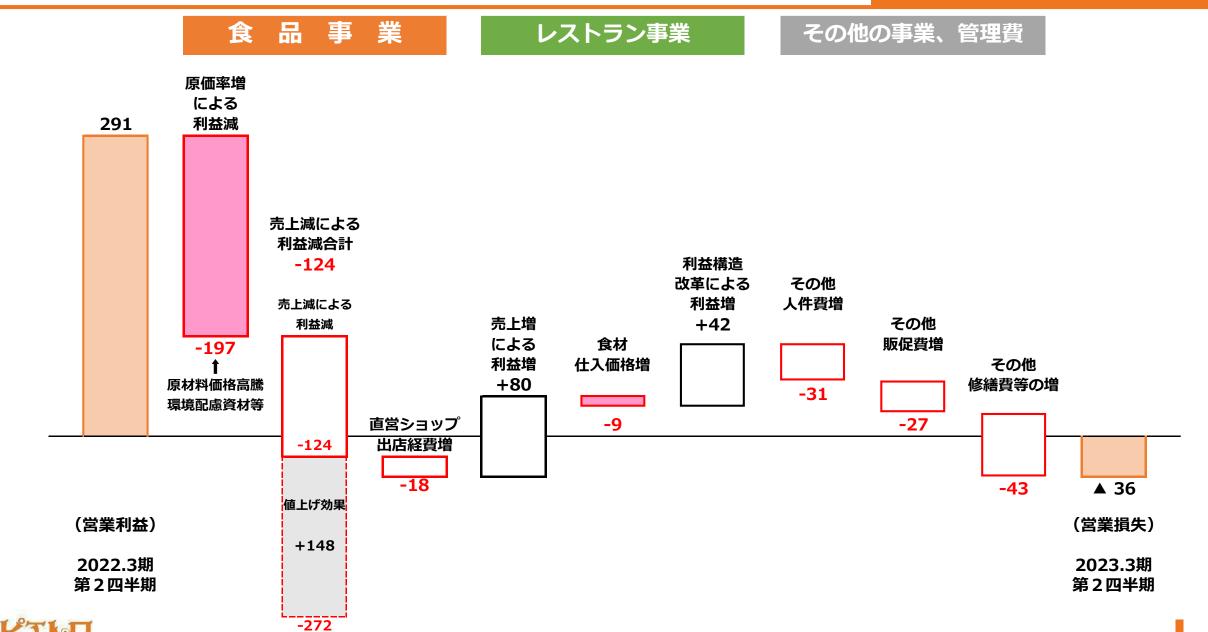
レストラン事業

売上高 1,405百万円 前期差+533百万円 既存店回復(来客数、顧客単価)が鮮明

	22/3期2Q	23/3期2Q	前年比(%)	前期差	
既存店	625		142.1	+263	来客数前年比136.1%、 顧客単価@+142円(1,264円→1,406円)
新店	46	327	708.1	+281	新店舗:鹿児島、浦和、北九州
閉店	36	0		▲36	前期1店舗
FC売上	159	151	95.0	▲8	閉店:大分
海外	45	51	112.7	+6	
販売額合計	911	1,417	155.5	+506	
会計基準調整	▲40	▲ 12			
売上高	871	1,405	161.2	+533	



● 全社(連結)営業利益



● 2023年3月期 通期見通し



・原材料価格(特に食用油=原料大豆)の高騰による仕入影響額

2021年度実績: **+1.5億円** ⇒ 2022年4月に販売価格改定 (*+3.1%~4.0%)

2022年度見込: +3.3億円(※内1.8億円は想定超え)

※ドレッシング

・ウクライナ情勢の長期化と為替影響(円安)で高止まり懸念





- ・内製化や物流費削減など効率化努力も効果は限定的 ⇒ 当初の業績予想を修正
- ⇒【収益性の改善が喫緊の課題】

2023年1月からドレッシングの販売価格改定を決定(+5.8%~7.1%)



増収減益

食品は価格改定の定着に注力、レストランは再黒字化を目指す

項目 23/3期 今回計画 22/3期 前期 前期比				l		単位:百万円	
売上総利益 4,774 4,708 4,530 +178 103.9 営業利益 400 30 353 ▲323 8.5 経常利益 392 30 369 ▲339 8.1 親会社株主に帰属 190 ▲44 165 ▲209 —	項目	-	-	=			
営業利益 400 30 353 ▲323 8.5 経常利益 392 30 369 ▲339 8.1 親会社株主に帰属 190 ▲44 165 ▲209 —	売上高	9,416	9,094	8,540	+553	106.5	
経常利益 392 30 369 ▲339 8.1 親会社株主に帰属 190 ▲ 44 165 ▲ 209 -	売上総利益	4,774	4,708	4,530	+178	103.9	
親会社株主に帰属 100 ▲ 44 165 ▲ 200 -	営業利益	400	30	353	▲323	8.5	
	経常利益	392	30	369	▲ 339	8.1	
		190	▲44	165	▲209	_	

配当据え置き:1株あたり24円(予定)



減収減益

想定を超える原材料価格高騰に対応するため販売価格再改定とさらなる生産効率化で吸収をはかるも年度内の効果は限定的

項目	23/3期 当初計画	23/3期 今回計画	22/3期 実績	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	6,726	6,063	6,395	▲332	94.8
営業利益	1,970	1,536	1,920	▲384	80.0



①ドレッシングカテゴリー

通期計画 販売額 5,030百万円

前期比 92.3%(▲419百万円)

く 1月に価格改定を実施、価値訴求の施策を継続 >

- ・収益基盤として今期中の改定価格定着に注力し次期以降の利益確保
- ・リニューアルした「グリーン 和風しょうゆ」、季節限定「黄金しょうが」、 他企業とのコラボ商品を投入し活性化



【和風しょうゆシリーズ】



9月リニューアル

黄金し

【秋冬限定】



黄金しょうが



ピエトロドレッシング 和風しょうゆ 3 億本記念パッケージに 「お客さまの声」を表示



タニタ様との初コラボ商品 < pietro daily plus >

- 毎日の生活に、おいしくたのしく「プラス」できる3つの健康習慣をご提案
- ・より健康を意識したラインアップとして、今年6月から当社の直販ルートと タニタカフェ限定で販売中、9月からは量販店でも販売を開始

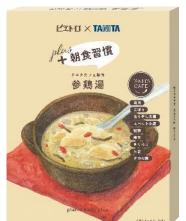




ドレッシング シリーズ



フライドオニオン シリーズ



+朝食習慣スープ シリーズ



②パスタカテゴリー

通期計画 販売額 1,100百万円

前期比89.9%(▲124百万円)

< レストラン発を訴求、レトルトソース拡販に注力 >

- ・簡便なボトル入りソース、手軽で本格的なレトルトソース、 プレミアム乾麺のラインアップで幅広いニーズに対応
- ・レトルトソースは当社レストラン人気メニューを商品化

販売額: 百万円 1,679 1,224 1,100 20年3月期 21年3月期 22年3月期 23年3月期

自社通販人気No.1 レストラン人気No.1



RAN CAPO

Ground beel with

Spicy Tomato acute

がす 辛 なけたいるのもなパゲナタ

Tocone very Au

CT101471706ARATA

レトルトパスタソース 「洋麺屋ピエトロ」





ボトル入りパスタソース 「おうちパスタ」



プレミアムパスタ乾麺 「ピエトロ AGNESI」



③冷凍カテゴリー

通期計画 販売

販売額 410百万円

前期比 126.9%(+87百万円)

< 商品開発と拡販の強化を継続 >

- ・レストランクオリティの高付加価値商品として、質販店での好調を 背景に量販店にも取り扱いを拡大
- ・ライフスタイルの変化に伴い、多様化するニーズに応える商品開発を 加速して新商品を上市し、プレミアム冷凍食品のポジション確立へ





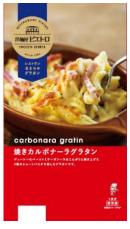
「ピエトロ」 冷凍ピザ



「洋麺屋ピエトロ」 冷凍パスタ



「洋麺屋ピエトロ」 冷凍ドリア



「洋麺屋ピエトロ」 冷凍グラタン **9月発売**



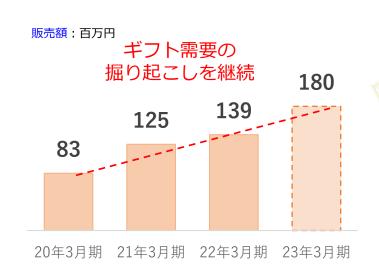
食品

通期計画 販売額 180百万円

前期比 129.5%(+41百万円)

くパーソナルギフトの取り組みとオンライン販売を強化 >

- ・主に直販店(ショップ&レストラン)とオンラインストアで販売
- ・素材と製法にこだわった高品質のスープをメッセージ入りのパッケージで 演出し、パーソナルギフト/プチギフト市場を開拓







PIETRO A DAYリブランディングを機に通年ギフトセットを訴求



増収・4期ぶり黒字計画

高付加価値の新メニュー投入と価格見直しで食材価格の高騰に対応 利益構造改革を継続し収益性をさらに向上させ黒字転換を目指す

項目	23/3期 当初計画	23/3期 今回計画	22/3期 実績	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	2,530	2,868	1,984	+883	144.5
営業利益	20	46	▲217	+263	_



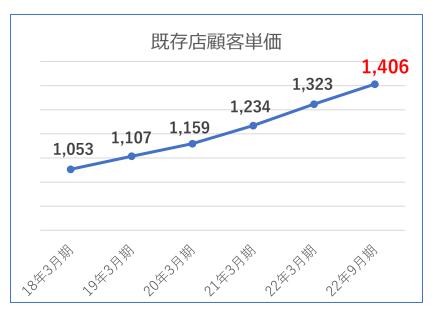
通期計画 販売額 2,880百万円

前期比 141.1%(+840百万円)

<顧客満足度と収益性の向上への取り組みを進める>

- ・高付加価値メニューの投入とグランドメニューの価格改定
- ・質の高いサービスの追求 ⇒ 研修や働く環境改善など人財投資を継続
- ・ディナーの強化(サイドメニューの充実など)







ローストビーフ 国産たまねぎの和風ソース



エリア戦略:

ファンベース・マーケティング拠点として未出店エリアを中心に出店



関東外郭エリア強化 イオンモール浦和美園店



6年ぶりに鹿児島に出店 鹿児島センテラス店

上 期

新規4店舗・リニューアル1店舗をオープン

レストラン **鹿児島センテラス店** 4月 9日

レストラン **イオンモール浦和美園店** 4月25日

レストラン THE OUTLETS KITAKYUSHU店 4月28日

直販ショップ PIETRO A DAY 浦和パルコ店 4月22日

サラダパスタ店 MIOMIO 天神地下街店(リニューアル) 4月21日

下 期

新規1店舗のオープンを**未出店エリア**で計画



● 新工場建設の概要を決定

< 生産性を向上し原価低減への取り組みを加速 >

- ・現工場の老朽化と分散非効率に対処
- ・生産品目の拡大と生産能力増強に対処
- ・生産性の向上により原価低減を加速
- ・100%再生可能エネルギーで稼働
- ・見学ルートを整備
- ・レストランとショップを併設

【概要】

所在地 : 福岡県古賀市

建築面積: 6,150㎡ 延床面積: 8,158㎡

生産能力:約1.4倍(2021年度比)

稼働予定: 2025年 秋

投資額 : 約60億円(土地代含む)



※イメージ



当資料取扱上の注意点

当資料には、「将来の見通しに関する記述」が記載されております。将来の見通しに関する記述は現在、 入手可能な情報に基づく当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、この記述には当社の業績に関す る経営陣の目標、所信または予想が含まれております。過去や現在の事実に関連しない全ての記述並びに 「予測する」、「見込んでいる」、「推計する」、「期待する」及びこれに類する表現の記述は将来の見通 しに関する記述となります。

これら将来の見通しに関する記述は、当社の将来の業績等にかかる記述によって表現された内容を保証するものではありません。また、実際の業績等がこの資料に記載される将来の見通しに関する記述と大きく異なるリスクや不確実性があります。従いまして、当社の業績などの予測を立てられる際に、これら見通しに全面的に依拠されることはお控えくださいますようお願い致します。また、法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定および要因についての変更を行うことがございますのでご了承ください。

<お問合せ先>

取締役 経理部長 兼 経営企画室担当 森山勇二 TEL/092-724-4925 FAX/092-751-4352

E-mail y-moriyama@pietro.co.jp URL https://www.pietro.co.jp

IR情報サイト



